

さくら通信

平成21年5月17日

No. 16

発行者：下関深坂さくら友の会 下関市横野町1-13-1
TEL:083-258-3277 FAX:083-258-3234
E-メール: hibiki-1c@gold.ocn.jp
HP: <http://members3.jcom.home.ne.jp/shuzo3/sakura/>



「3月定例会」

開会しているのは安岡にある本格中華料理店「胡家（ふうちや）」の料理長。昼食に肉団子スープを作っていただいた。料理長は大の桜好きで、お嬢さんの名は「さくら」だそうである。

「深坂さくらえ」

4月5日、さくら友の会主催のさくら祭り「深坂さくらえ」が開かれた。今年で2回目である。桜は満開で、天気も良かったので、成功を保証されたようなものす。見晴らし台コース（健脚コース）と、深坂の森植物探索コース（健康コース）に分かれてウォーキングを楽しんだ。各自弁当持参だが、ぜんざいのサービスもあった。

午後は、会場の子ども達も参加してジャンケン大会、bingoゲーム等をして遊んだ。（写真はソメイヨシノの親、大島桜）



「桜見学研修会」

4月10～12日、希望者を募って吉野山の桜見学ツアーを行った。名門フェリーで新門司から大阪南港まで、往復とも船中泊。39名参加。家族、夫婦同伴も多く、初めて顔を合わせる人も少なくなく、お互いに他人のような気がせず、すぐに親しくなって船中泊も楽しく過ごし、みな満足げでした。吉野山の印象は兎に角人が多かったです。

国宝建築蔵王堂の前で集合写真を撮りましたが、すでに10名ほどは先に行かれたようです。さくら友の会の赤い帽子が目立ちました。吉野の桜を守る人たちと間違われたことが幾度もありました。



NPO法人の認可

NPO法人の設立申請をしていましたが、4月28日付で認可され、登記も完了しました。NPO法人番号第349号です。正式名称は「特定非営利活動法人下関深坂さくら友の会」

「よしのにいって」

ぼくは、このまえ、さくらとものかいの「よしのせんばんざくらけんしゅうりょこう」に、おじいちゃんといっしょにいきました。いくまえに、おじいちゃんが「よしのはテーマパークみたいに、のりものやアトラクションはないけれど、にっぽんでもゆうめいな、桜の名所だからきっときれいなさくらがみられるとおもうよ。ちいさいときから、きれいなものをいっぱいみておきなさい。」といわれました。いきもかえりもフェリーにのりました。フェリーは、とてもとても大きくてホテルのようなレストランや、てんぼうぶろもあり、おどろきました。はじめの日、ゆうしょくのとき、こどもは、ぼくひとりしかいなくて、じこしょうかいのときには、どうしてよいかわからず、しんぱいでした。でもおじいちゃんが、いっしょにあいさつをしてくれて、おじちゃんやおばちゃんが、みんなやさしく、はくしゅしてくれたので、とてもうれしかったです。みんなのじこしょうかいは、どれもわらいごえや、はくしゅがおおくて、とてもたのしそうでした。とちゅうで、「りょうち」というおじちゃんが「ちゃちゃ」をいれて、みんなをわらわせしていました。ぼくは「ちゃちゃ」をしりませんでしたが、おじいちゃんが、「ひとのはなしのとちゅうにわざと、からかったり、すこしこまらせたりして、おもしろくすることだよ」とおしえてくれました。あたらしことばをおぼえました。うたも、みんなじょうずで、とくに、かいちょうさんの、みやざきみんようが、すばらしかったです。つぎの日、「よしの」は、くもがひとつもなくてよい天気で、なつのように、とてもあつかったです。ちゅうしゃじょうは、おおがたのかんこうバスがいっぱいでした。あるきはじめてからは、さくらもまんかいで、下の方では、かぜがふくと、花びらが、いっぱいふってきてくれました。つづくさかみちは、右も左もおみやげやさんが、いっぱい、かんこうきやくもいっぱいあるいていました。みんな、「きついきつい」といっていましたが、とてもたのしそうでした。ぼくも、いっしょにたのしかったです。とちゅうのおみせで、おじいちゃんに、竹でつくった「水でっぽう」をかってもらいました。かえったらこれであそぶのがたのしみです。さくらは、おみせのあいだや、おてらのおにわや、むこうのやまにも、いっぱいいさいていて「え」のようによてもきれいでうつくしかったです。いつまでもわすれないとおもいます。

とよら小学校 2年 小山けんた（和泉さんの孫）

予定

維持管理部会 6月14日（日）9時00分
定例会 7月12日（日）9時00分